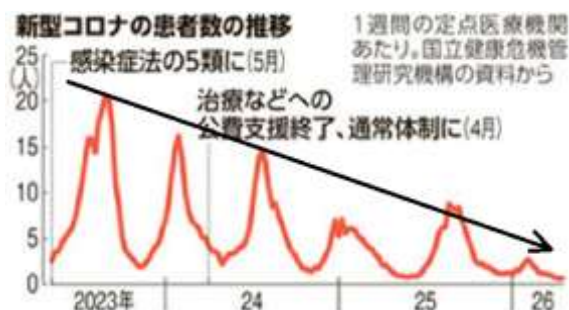


## 患者さんにご家族へ『マスク着用』についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染症は依然として高齢者や持病がある人にとって、重大な危険因子で、日本では、高齢者を中心に毎年3万6千人程度の方が亡くなっています。

しかし、今年に入り、新型コロナウイルス感染症の流行が徐々に減少傾向となり、流行の合間には、全員のマスク常時着用が必須とは言えない状態になりつつあります。そこで当院では、以下のようにマスク着用のルールを変更いたします。



2026年5月15日から、マスクを着用するかどうかは、ご自身で決めてください。

ただし、以下のような場合には注意しましょう

しかし、以下のような場合には、これまでのようにマスクを着用してください。発熱や咳などの呼吸器症状がある場合、免疫不全状態で重症化する危険性が高い場合、妊娠中の場合、マスクを外すことに不安がある場合、には、これまでのように、マスク着用を継続してください。

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性疾患  
がん  
心血管疾患など



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

**マスク着用は個人の判断が基本となります**